

高校2年とはどんな時期か～受験勉強への移行～

いよいよ新年度がスタートしました。ちょっと緊張した日々を送っているかとは思いますが、ともすれば1年生で入学したときの緊張、また3年生のいよいよ頑張らねばという緊張よりは薄れてしまいがちで、日常生活の中で新鮮さをなくし、自分の人生や自分の将来にまでも無関心になってしまいます。しかし、2年生は本格的に進路を考えていかなければならない重要な年なのです。文理選択から踏み込んで、「自分は将来何々がやりたいから何々学部の何々学科で学びたい」としっかりと見えなければなりません。決して安易な方向に逃げず、目的ありきで将来を設計してほしいと思います。また、授業も早くなり、先を見据える教科が増えてきます。秋になると、実力テストから模試に変わり、理科、地歴公民が加わります。どの科目が自分の受験科目で、合格するのに不足している力は何かなどと模試ごとに分析していくのです。勉強そのものも、「全員に同じ課題が課せられる勉強から、将来に向けて自分としてやらなければならないことをやる勉強(=受験勉強)」へと移行します。進路は皆違いますし、かつ自ら動かないと見えてきません。今自覚しないと3年になってからでは手遅れになります。どんどん動いていってほしいと思います。

進路指導部について

進路指導部の仕事とは

皆さんの進路に関するすべてのことを担当しています。就職に関することや専門学校、短大、4年制大学に関するあらゆる情報が進路指導部に集まります。その情報を皆さんの役に立つ形に変えて提供します。教室の本棚にある進路関係の本や資料も進路指導部が選んで、担任の先生に置いてもらっているものです。また、提供だけではなく、相談にも乗っています。昨年度の3年生も、自分の進路について、学部や学科について、どんな大学があるのかについてなど、本当に様々なことを進路指導部の先生に相談に来ていました。進路指導部には各方面の進路関係のエキスパートがそろっています。そして進路は100人いれば100人とも違い、なおかつ自ら動かないと切り開かれていきません。どんな相談にも対応しますので、今年は積極的に足を運んでみてください。

進路指導部のスタッフと利用心得

右面参照。

○進路指導室は、就職や進学を扱う部屋です。身なりを整えて入室してください。

○先生に用事のある人は「失礼します。」と言ってカウンターの前まで来てください。名乗って要件を伝えてください。

○各大学からの資料や過去問が豊富にあります。総合型/学校推薦型選抜が増加している現在、大いに利用してください。各種資料や赤本を見に来た人は名乗らなくてもかまいません。ただし勝手に資料をもっていかないように。

○貸し出しのルール(右枠)は必ず守ってください。

○他にも、模試の申し込み期限は必ず守ること。また推薦等の重要な説明会は参加しないと資格を失いますので注意してください。

進路指導部に ある資料

あげればきりがなくいろいろな資料があります。例えば、赤本(各大学の過去の入試問題集)、入試問題正解や模試の集冊版、先生方お薦めの参考書・問題集、各大学の学校案内や願書、就職の求人票や公務員関係の資料、小論文関係の書籍、受験勉強の仕方や大学選びの方法を書いた本、先輩たちの受験報告書などです。必要な本があれば進路指導部の先生に聞いてみてください。

○資料貸し出しのルール○

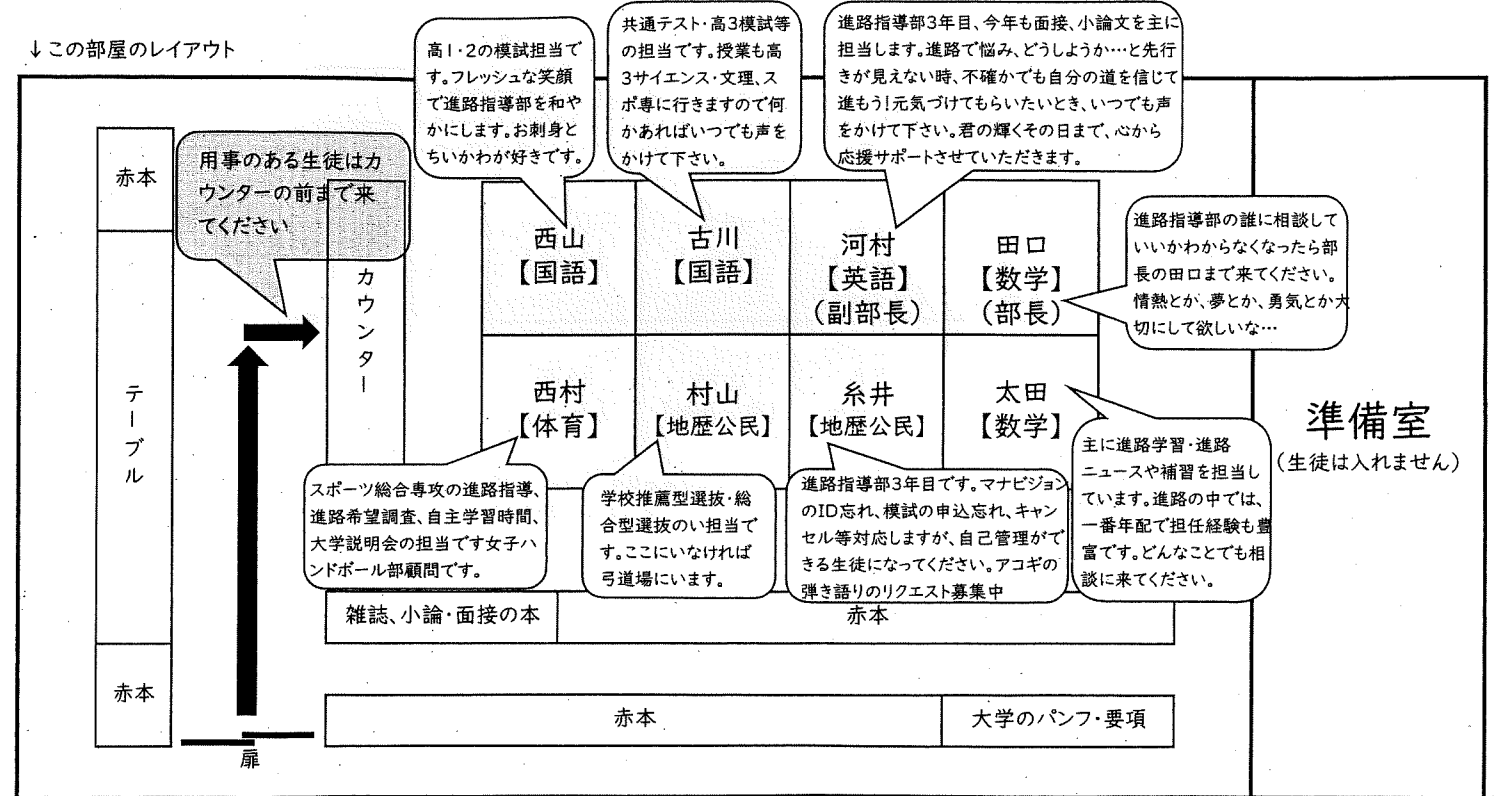
- ・ 登雪時代、学校案内、入試要項、受験報告書……貸し出し不可(閲覧可)
- ・ 赤本、先生方お薦めの参考書・問題集……コピーのための一時貸し出し可(コピーしたい場合は、90分間程度の一時的貸出しのみ可。貸出用紙がありますので申し出てください。)
- ・ 上記以外の資料……1泊2日の貸出し可。進路指導部の先生に申し出て、貸出用紙に記入して借りてください。

置いてある資料や本を勝手に持ち出すことは絶対にしないでください。

進路指導室の閲覧机は、資料を見たり進路相談をしたりするための場所です。閲覧机で赤本等を使って学習することはできません。2階の自習用机や3階の自習室等を利用してください。

令和6年度 進路指導部

↓この部屋のレイアウト



・就職や進学を扱う部屋です。身なりをきちんと整えて、入室してください。

・先生に用事のある人は、「失礼します。」と言ってカウンターの前まで来てください。名乗って、要件を伝えてください。

・各種資料や赤本を見に来た人は、名乗らなくても構いません。ただし勝手に資料をもっていかないようにしてください。